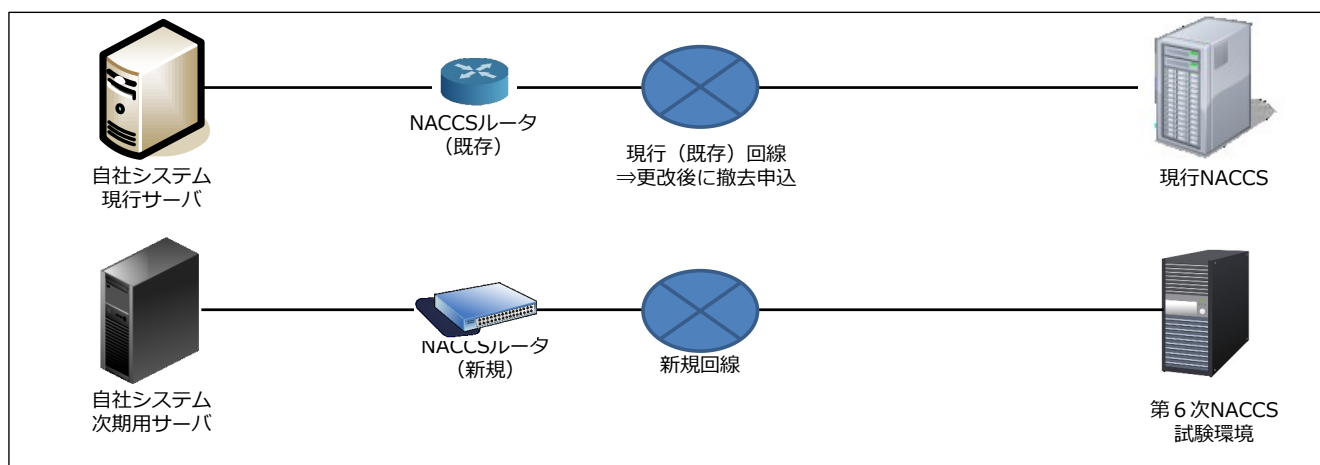


NACCS専用回線の申込について (ebMS処理方式を除く)

1-1. 例1：次期サーバ構築及び新規回線の新設



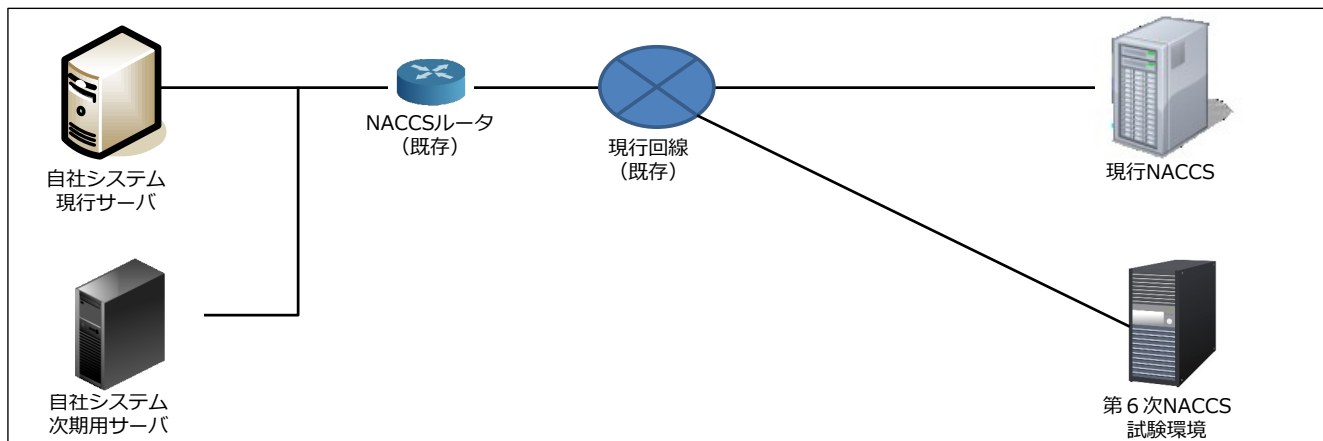
【留意事項】

- 本事例は、新たに次期用サーバを設置し、かつ、利用する回線も新規に設置する場合です。
- 設置する回線は第6次NACCSとの接続のみに利用する事から、平成29年6月までは回線使用料は発生しません。ただし、64kbps及び128kbpsの回線新設は回線使用料の無料対象外となります。
- 新規回線の利用者サーバのIPアドレスは、現行回線で使用いただいているIPアドレスとは別のIPアドレスを提供いたします。

【申込方法】

- 本年9月末までに紙面「システムサービス利用契約変更申込書（第6次NACCS専用 回線新規申込（契一回6新）（原本）」及び「システム構成図」をNACCSセンター システム企画部「次回回線申込担当」あてに郵送により送付してください。

1-2. 例2：自社サーバを更新し、回線は既存を利用



【留意事項】

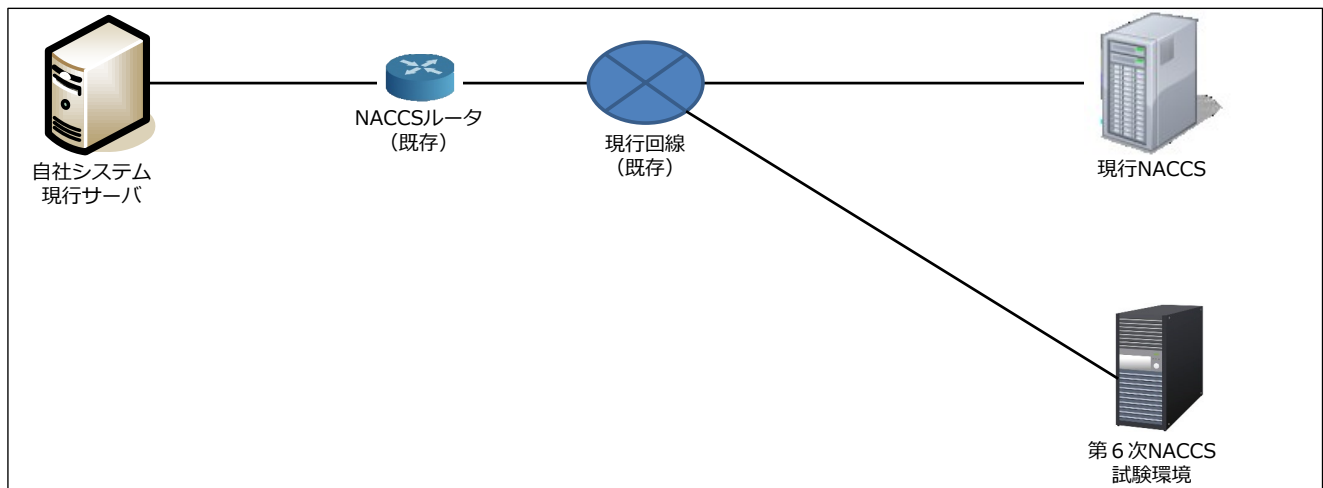
- ・ 本事例は、第6次NACCS接続用として自社システム側サーバを新たに設置し、回線は既存回線を継続利用する場合です。
- ・ 新利用者サーバのIPアドレスは、現行で使用いただいているIPアドレスとは別のIPアドレスを提供いたします。
- ・ 現在、予備機ルータをお持ちの方で第6次においても予備機を継続利用する場合、予備機に対しての設定情報追加を平成29年5～6月頃に行う場合は、工事費は掛かりません。ただし、当該時期以外に予備機に対して設定情報を追加希望される場合は別途工事費（約8万円）がかかります。
- ・ 第6次から提供するオプションメニュー（Ping監視、冗長化）を追加する場合は、第6次NACCS更改以降に申込みを行っていただくことになります（詳細は、利用申込等説明会においてご案内します。）。

【申込方法】

- ・ NSSを利用して現行回線の保有事業所コードで一般NACCS端末の変更として申込みを行ってください。（『サーバ追加台数』のみ入力ください。メールアドレス追加数やメールボックスIDの追加の入力は行わないでください。）
申込入力例：http://www.naccscenter.com/_files/00095211/16_ippantsuika1.pdf
- ・ 接続試験参加申込書提出予定日の約3週間前までにお申込み下さい（申込後2週間程度でIPアドレスが払い出されます。）。



1-3. 例3：現行サーバと現行回線を継続利用



【留意事項】

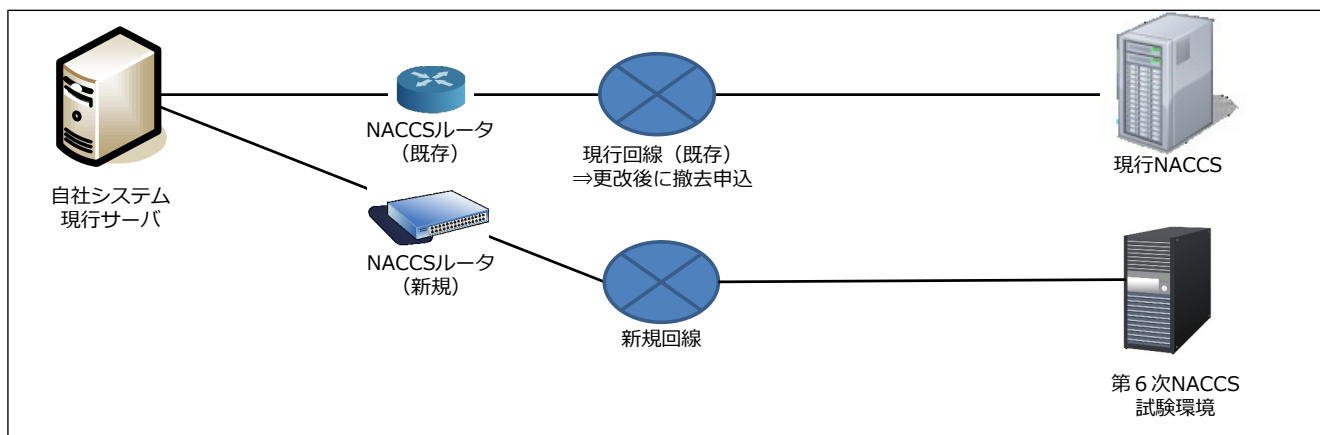
- ・ 本事例は、第6次NACCSにおいても現行回線及び現行自社サーバを継続して利用する場合となります。
- ・ 現行本番データと第6次試験用データを混同しないように自社サーバ側で制御する必要があります。
- ・ 第6次から提供するオプションメニュー（Ping監視、冗長化）を追加する場合は、第6次NACCS更改以降に申込みを行っていただくことになります（詳細は、利用申込等説明会においてご案内します。）。
- ・ 自社システム側サーバのIPアドレスの変更はありません。

【申込方法】

回線関係の申込みは不要



1-4. 例4：自社サーバは変更せずに回線のみを新設



【留意事項】

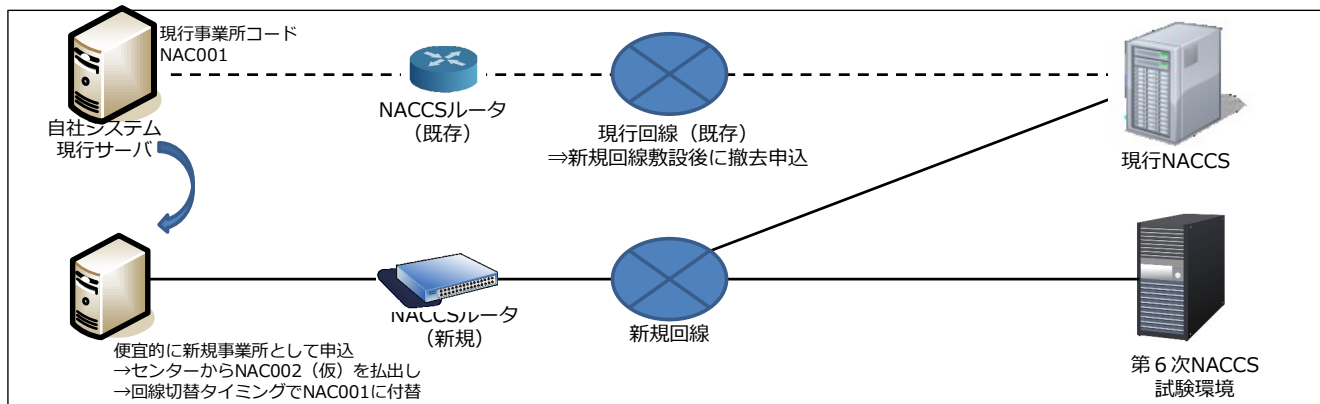
- ・ 本事例は、現行の自社システム側サーバを第6次NACCSでも継続利用し、回線については第6次用として新設する場合があります。
- ・ 現行本番データと第6次試験用データを混同しないように自社サーバ側で制御する必要があります。
- ・ 設置する回線は第6次NACCSとの接続のみに利用する事から、平成29年6月までは回線使用料は発生しません。ただし、64kbps及び128kbpsの回線新設は回線使用料の無料対象外となります。
- ・ 新規回線の利用者サーバのIPアドレスは、現行回線で使用いただいているIPアドレスとは別のIPアドレスを提供いたします。

【申込方法】

- ・ 本年9月末までに紙面「システムサービス利用契約変更申込書（第6次NACCS専用 回線新規申込（契-回6新）（原本）」及び「システム構成図」をNACCSセンター システム企画部「次期回線申込担当」あてに郵送により送付してください。



1-5. 例5：現行中に回線切替後、現行及び次期で利用



【留意事項】

- ・ 本事例は、回線を新規に敷設し、当該新規回線を利用して現行サーバと現行NACCS及び第6次NACCSに接続する場合となります。
- ・ 現行本番データと第6次試験用データを混同しないように自社サーバ側で制御する必要があります。
- ・ 現行用の回線としても利用する事から、回線使用料は敷設時点からお支払いいただくことになります。
- ・ 自社システム側サーバのIPアドレスは新規回線用の新たなIPアドレスが払い出されます。
- ・ SMTP双方向においては、現在使用中の双方向メールアドレス・論理端末名が変更となります。
- ・ 第6次から提供するオプションメニュー（Ping監視、冗長化）を追加する場合は、第6次NACCS更改以降に申込みを行っていただくことになります（詳細は、利用申込等説明会においてご案内します。）。

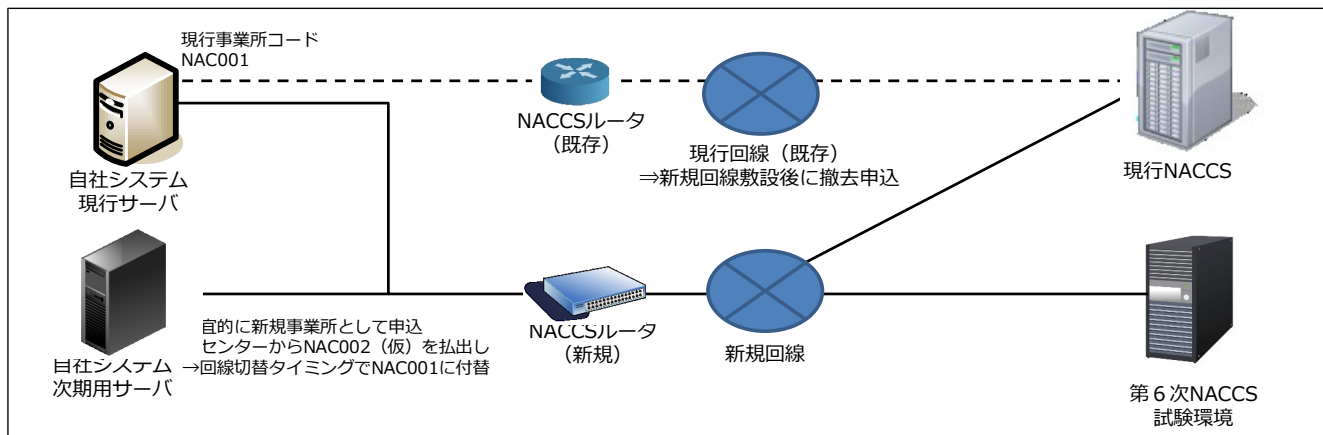
【申込方法】

- ・ NSSを利用して新規事業所の追加として申込みを行ってください（新規追加）。この際、備考欄に『自社システム現行・次期利用。事業所コードNAC001の回線からの切替』等を記載願います。後日、現行回線の保有事業所コードへの情報付替えをします。申込入力例：http://www.naccscenter.com/_files/00102889/shinki_senyosen.pdf（利用者コードの追加は不要）回線設置希望日の約2～3か月前までにお申込み下さい（回線種別により設置に要する標準日数が異なります。）。

（注）現行回線保有の事業所（事業所コードを利用）として変更申込みを行った場合、回線設置日までの約2～3か月間、当該事業所に係る他の契約変更が実施できなくなります。



1-6. 例6：現行中に回線切替後、現行用と次期用サーバを接続



【留意事項】

- ・ 本事例は、新規回線を設置後、同回線に現行サーバと次期用サーバの双方を接続する場合です。
- ・ 現行用の回線としても利用する事から、回線使用料は敷設時点からお支払いいただくことになります。
- ・ 新規回線利用となるため、現行用、次期用として新たなIPアドレスをそれぞれ提供します。
- ・ SMTP双方向においては、現行使用の双方向メールアドレス・論理端末名が変更となります。
- ・ 第6次から提供するオプションメニュー（Ping監視、冗長化）を追加する場合は、第6次NACCS更改以降に申込みを行っていただくことになります（詳細は、利用申込等説明会においてご案内します。）。

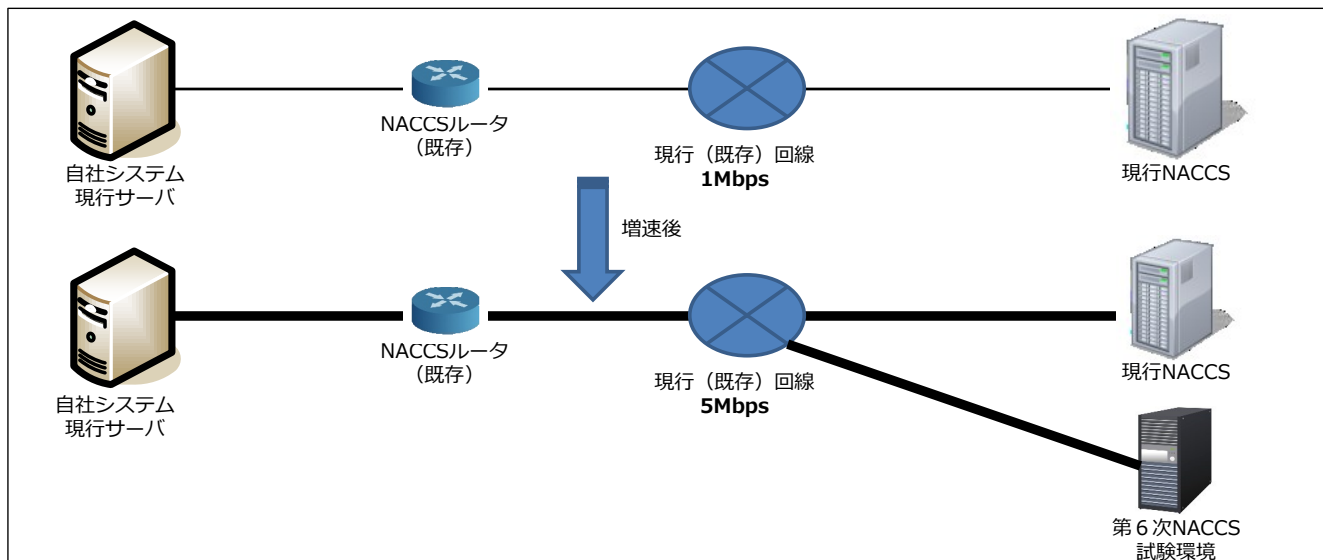
【申込方法】

- ・ NSSを利用して新規事業所の追加として申込みを行ってください（新規追加）。この際、備考欄に『自社システム現行・次期利用。事業所コードNAC001の回線からの切替』等を記載願います。後日、現行回線の保有事業所コードへの情報付替えをします。
申込入力例： http://www.naccscenter.com/_files/00102889/shinki_senyosen.pdf （利用者コードの追加は不要）
回線設置希望日の約2～3か月前までにお申込み下さい（回線種別により設置に要する標準日数が異なります。）。

（注）現行回線保有の事業所（事業所コードを利用）として変更申込みを行った場合、回線設置日までの約2～3か月間、当該事業所に係る他の契約変更が実施できなくなります。



1-7. 【参考】既存回線の増速



【留意事項】

- ・ 本事例は、システム構成 例2又は例3に併せて、現行（既存）回線の専用線回線速度を増速する場合です。（BB光、ADSL回線と専用線回線速度が128kbps以下から1Mbps以上への増速は対象外となります。）
- ・ 回線使用料は増速適用年に対応する金額に増額されます。
- ・ 増速に伴う実費相当分の工事費（約9万円）が発生します。
- ・ 利用者側サーバのIPアドレスは変更されません。

【申込方法】

- ・ NSSを利用して現行(既存)回線保有事業所コードで変更申込を行う（申込を行う際には、あらかじめNACCSセンターへご相談ください。）。
- ※増速日までの約2～3か月間、当該事業所に係る他の契約変更が実施できなくなります。



1-8. 【参考】オプションメニュー（予備機）の変更

第6次NACCSネットワークでは、ルータの予備機設置をオプションメニューとして追加いたしますが、既に、現行ネットワークにおいても、一部利用者に対しては予備機を提供しています。平成29年7月からは予備機ありのルータ使用料をお支払いいただくこととなります。このため、オプションとして予備機を利用するケースについては、以下のケースごとに異なる手続を行っていただくこととなります。

1. 現在予備機を利用している者（現行回線を第6次でも継続利用する者。下記例2及び例3に該当）

現在、予備機を利用している利用者には、本年9月に実施する事前調査の調査項目として「予備機利用の希望有無」を確認させていただきます。なお、希望有無によって以下の手続を行ってください。

① 現在、予備機をご利用いただける自社システム利用者様で、第6次でも引き続き継続利用を希望する場合

例3：平成29年5～6月頃、設定変更の工事を実施いたします。当該工事に係る費用は無料といたします。

例2：次期用サーバ追加を接続試験の6週間前までにNSSで申込みを行ってください。また、予備機の設定変更が平成29年5～6月頃で支障が無ければ例3と同様、無料に対応します。他の時期を希望する場合は、実費相当分の工事費（約8万円）が発生します。

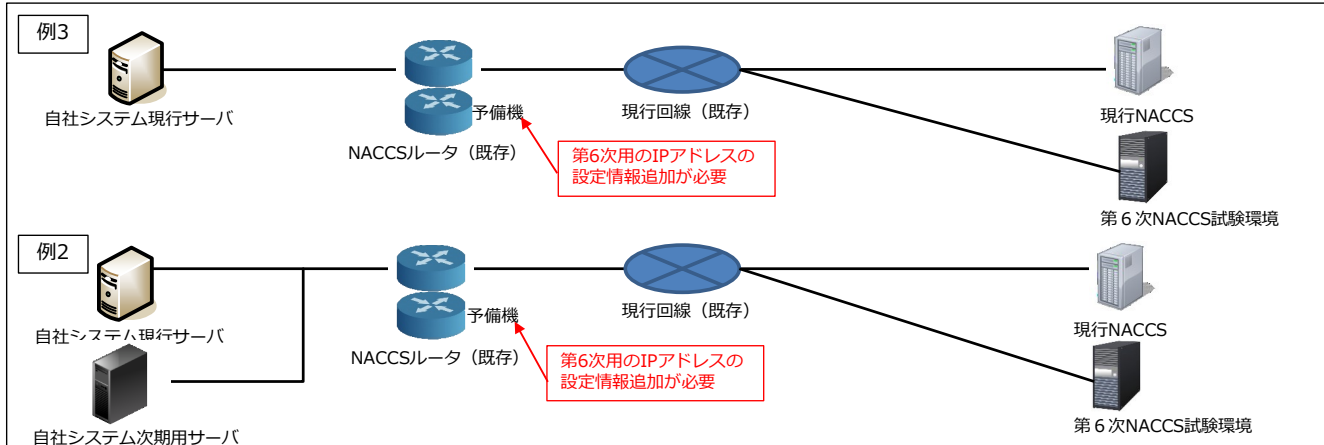
② 現在、予備機をご利用いただける自社システム利用者様で、第6次からは予備機を不要とする場合

例2及び例3：個別にNACCSセンターシステム企画部「次期回線申込担当」までご相談ください。

2. 新規回線（第6次NACCS接続用）

オプションとして予備機利用を希望する場合は、「システムサービス利用契約変更申込書（第6次NACCS専用 回線新規申込（契-回6新）（原本）」に記載の上、NACCSセンターシステム企画部「次期回線申込担当」に提出ください。

新規回線の設置に合わせて予備機の設定も実施します。



2-1. オプションメニュー適用開始時期

1. 新規回線（第6次用に限る）

オプション	申込受付期間	適用開始時期	申込手続
保守時間	平成28年9月末まで （平成29年1月までに敷設する場合）	開通時から適用	「システムサービス利用契約変更申込書（第6次NACCS専用 回線新規申込（契一回6新）（原本）」の項目欄に要否を記入の上、NACCSセンターシステム企画部「次期回線申込担当」あてに郵送してください。
予備機設置		開通時から適用	
Ping監視		平成29年10月から	
冗長化 （第6次環境向け） ※専用線1Mbps以上回線		開通時から適用	

2. 現行利用回線に対する変更

オプション	申込受付期間	適用開始時期	申込手続
保守時間	平成28年11月～ 平成29年2月	平成29年10月更改以降	別途申込用紙を提供いたします。詳細は、「利用申込等説明会」においてご案内いたします。
予備機設置・撤去		平成29年10月更改以降（別途回線工事費として約8万円）	
Ping監視	平成29年10月更改後から受付開始	申込後に別途調整	平成29年10月にNSSでオプション申込みをメニュー化いたしますので、平成29年10月更改以降にNSSを利用して申込みを行ってください。
冗長化 （第6次環境向け） ※専用線1Mbps以上回線		申込後に別途調整（別途回線工事費として約10万円）	

※実費相当分の工事費は平日日勤帯での作業時における平均的な目安であり、休日・夜間等の作業によって増額されます。



2-2. 現行利用回線における保守時間の適用

- 現行利用回線の保守時間は、回線の航空／海上区分廃止時（平成29年7月を予定）、元々の区分ごとの保守時間が適用されます（申込は不要です。）。

回線区分	保守時間
海上	平日9時～18時
航空／共通	24時間365日

- 現行利用回線における保守時間の適用は、オプション(保守時間)変更申込の有無で以下のパターンとなります。

パターン	平成29年6月まで	平成29年7月から9月まで	平成29年10月から
① 海上区分であった回線を保守時間変更申込なしで次期利用	平日9時～18時		
② 海上区分であった回線を保守時間変更申込ありで次期利用	平日9時～18時		24時間365日
③ 航空／共通区分であった回線を保守時間変更申込なしで次期利用		24時間365日	
④ 航空／共通区分であった回線を保守時間変更申込ありで次期利用		24時間365日	平日9時～18時

次期のみ利用新規回線申込先について



3. 新規回線追加申込先

- 1. の各システム構成例を確認の上、お申し込みください。
- 紙面にてお申し込みいただく場合は、次期(第6次)環境のみと接続する回線となります。
(現行環境と接続したい回線については、NSSよりお申し込みください。)
- 紙面に押印いただく前に、Eメール又はFAXにて提出いただければ、事前に審査をさせていただきます。
- 郵送先：
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館8階

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
システム企画部 次期回線申込担当
- 次期回線申込にかかる問合せ先
Eメール： jiki-riyou@naccs.jp
FAX： 03-5460-0925



利用者側メールアドレスについて

4. 第6次用本番向け利用者側メールアドレスについて

回線の契約変更に伴い、現行(第5次)NACCSで使用している利用者側メールアドレスから、次期(第6次)NACCSにて使用するメールアドレスへの変更点を以下に示します。

処理方式	次期と現行で利用 IPアドレス	アカウント名 (@前)	ドメイン名 (@後)	仮想論理端末名
SMTP/POP3	同一IPアドレス	変更なし (メールボックスID)	MAIL.PROD.NACCS6	—
	別IPアドレス			—
SMTP双方向	同一IPアドレス	変更なし	SMTP.XXX01.NACCS6	変更なし
	別IPアドレス	変更有り		変更有り

※SMTP双方向処理方式で、次期サーバが別IPアドレスの際には、後日（秋頃）必要メールアドレス数を確認させていただきます、申し込みいただきます。

参考：専用回線メニュー料金表



参考．回線料金表（現行／次期統一料金）（今後の検討によっては、変動の可能性有り）

種 別	単 位	～H29.6	H29.7～ H31.9	H31.10～ H33.9	H33.10～
センターに支払うべき費用					
○ 回線初期費用					
ネットワーク加入料（注1）					
64kbps, 128kbps 予備機なし	1回線ごと			88,000	
128kbps 予備機あり				135,000	
1Mbps以上 予備機なし				98,000	
1Mbps以上 予備機あり				169,000	
冗長化（B B光）		－		270,000	
○ 回線使用料等					
回線使用料					
64kbps の場合	1回線ごとに月額	19,760	20,700	26,000	36,000
128kbps の場合		29,760	30,700	36,000	41,000
1Mbps の場合		80,000	36,000	33,800	31,800
冗長化（B B光）		－	54,900	52,700	50,700
3Mbps の場合		140,000	91,000	71,000	51,000
冗長化（B B光）		－	109,900	89,900	69,900
5Mbps の場合		180,000	101,000	81,000	61,000
冗長化（B B光）		－	119,900	99,900	79,900
10Mbps の場合		260,000	121,000	101,000	81,000
冗長化（B B光）		－	139,900	119,900	99,900
屋内配線使用料（冗長化選択時に加算）	1回線ごとに月額	－		1,000	
ルーター使用料（注2）					
64Kbps, 128Kbps 平日9時～18時保守	1回線ごとに月額			3,700	
24時間365日保守				5,600	
24時間365日保守／予備機あり		29,700		11,200	
1Mbps以上 平日9時～18時保守				5,200	
24時間365日保守				5,800	
24時間365日保守／予備機あり		27,100		11,600	
24時間365日保守／冗長化		－		21,000	
オプション					
Ping監視（注5）	1回線ごとに月額	－		2,000	
回線工事費（移転・変更等）					実費相当分

種 別	単 位	～H29.6	H29.7～ H31.9	H31.10～ H33.9	H33.10～
センターに支払うべき費用					
○ 回線初期費用					
ネットワーク加入料（注1）					
ADSL回線 予備機なし	1回線ごと			85,000	
接続の場合 予備機あり				130,000	
光回線接続 予備機なし				98,000	
の場合 予備機あり				169,000	
○ 回線使用料等					
回線使用料					
ADSL回線 平日9時～18時保守	1回線ごとに月額	9,490		10,490	
接続の場合 24時間365日保守		12,490		13,490	
光回線接続 平日9時～18時保守		12,400		13,400	
の場合 24時間365日保守		18,900		19,900	
屋内配線使用料					
ADSL回線接続の場合	1回線ごとに月額	60		0	
光回線接続の場合				1,000	
ルーター使用料（注2、3）					
ADSL回線 平日9時～18時保守	1回線ごとに月額			5,200	
接続の場合 24時間365日保守				5,800	
（注4） 平日9時～18時保守				11,600（予備機あり）	
光回線接続 平日9時～18時保守				5,200	
の場合 24時間365日保守				5,800	
				11,600（予備機あり）	
回線工事費（移転・変更等）等					実費相当分

備考：本料金表で示す利用料金は現時点の予定価格であり、今後、見直す可能性がある。

- （注）
- 1 ネットワーク加入料には、ルーター設置費用を含む。
 - 2 ルーター使用料には保守費を含む。
 - 3 ADSL回線は上り5Mbps、下り47Mbpsタイプを、光回線は100Mbpsベストエフォートである。なお、ADSL回線、光回線はNACCSネットワークに接続するための専用アクセス回線であり、インターネット接続には利用できない。
 - 4 ADSL回線は光B B回線が利用不可の地域に限り、新規受付を行う。
 - 5 冗長化はメインを1～10Mbpsの専用線、バックをB B光回線の構成とする。また、冗長化を選択した場合には、Ping監視が無料で提供される。

